

# 機関室ビルジ及びスラッジ処理規定に関する事項

## 改正規則等

海洋汚染防止のための構造及び設備規則  
海洋汚染防止のための構造及び設備規則検査要領

## 改正事項

機関室ビルジ及びスラッジ処理規定に関する事項

## 改正理由

2008年10月に開催されたIMO第58回海洋環境保護委員会(MEPC58)において、ビルジ処理システムに関する改正ガイドライン MEPC.1/Circ.642 が承認され、ビルジ及びスラッジ処理規定が改正された。

また、同委員会において、廃油焼却設備を有する船舶に対してスラッジタンク容量の低減を許容する統一解釈の廃止が合意された。

一方、2009年7月に開催されたIMO第59回海洋環境保護委員会(MEPC59)においては、ビルジ及びスラッジに関する用語の定義を追加するMARPOL条約附属書Iの改正が審議され、決議MEPC.187(59)として採択された。

今般、機関室のビルジ及びスラッジ処理に関して、MEPC.1/Circ.642及びMEPC.187(59)に基づき、関連規定を改めた。

## 改正内容

- (1) ビルジタンク及びスラッジタンクの容量に関する規定を改めた。
- (2) ビルジ及びスラッジに関する用語の定義を追加した。